

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年10月3日（月）

2 確認箇所

- ・伐採木一時保管エリアT
- ・モニタリングポストNo. 8周辺

3 確認項目

- (1) 伐採木一時保管エリアTの現況
- (2) モニタリングポストNo. 8周辺の状況

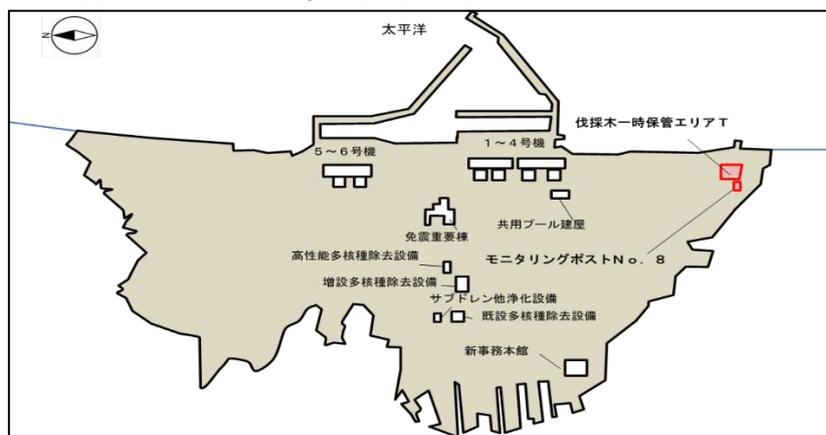
4 確認結果の概要

(1) 伐採木一時保管エリアTの現況について

伐採木一時保管エリアTでは、地下にチップ化した伐採木を保管するための保管槽を設置しており、保管槽の上には盛土及びシート掛けがなされている。

当該エリアでは、令和元年10月の台風19号や令和3年7月の台風8号の影響等で西側法面の一部崩落や進入路の亀裂発生などの事象が発生しており、崩落を防止する対策等が行われていることから、その後の状況について確認した。（図1）（前回確認：[令和3年7月29日](#)）

- ・法面の崩落箇所が締固められており、崩落箇所付近に設置されていた土のうは撤去されていた。また、エリア周囲の法面には、各段毎に雨水を排水するための排水溝が設置されていた。（写真1）
- ・確認した範囲で進入路の亀裂の進展はなく、以前設置されていた路肩注意の表示が撤去されていた。（写真2）



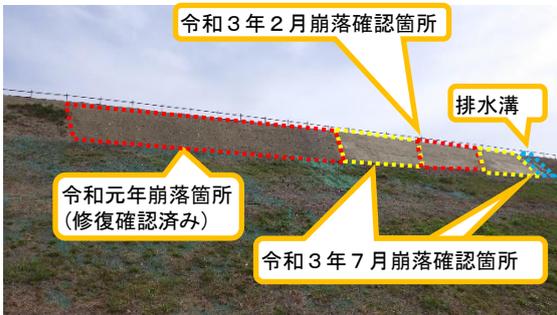
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 - 1)
エリア上部の状況
(令和 3 年 7 月 29 日 撮影)



(写真 1 - 2)
同左
(令和 4 年 10 月 3 日 撮影)



(写真 1 - 3)
現在の法面 (上部) の状況



(写真 1 - 4)
排水溝の設置状況①



(写真 1 - 5)
排水溝の設置状況②
(上から下に向けて撮影)



(写真 2-1)
 進入路の状況
 (令和 3 年 7 月 29 日撮影)



(写真 2-2)
 同左
 (令和 4 年 10 月 3 日撮影)

(2) モニタリングポスト No. 8 周辺の状況について

令和 4 年 5 月 27 日午後 1 時 35 分頃、排水溝の冠水により、モニタリングポスト No. 8 近傍に設置された連続ダストモニタ (A 系・B 系) に異常が発生し、監視ができない状況となった。近傍の排水枡にごみが堆積し、閉塞したことが原因と考えられており、ダストモニタの復旧後、当該エリアでの冠水を防止するための対策が取られていることから、状況を確認した。(図 1)

- ・排水枡に接続している排水溝内にごみ等の堆積はなかった。(写真 3)
- ・排水枡には水が溜まっていたが、ごみ等の堆積は見られなかった。(写真 4)
- ・排水溝に接する斜面は草が刈られており、土のうが設置されていた。(写真 5)



(写真 3)
 排水溝内の状況



(写真4)
排水柵の状況



(写真5)
排水溝近傍の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。